

## 大會順序

同會者 伊藤 誠

法人 機械聯合

同會者 伊藤 誠

一、開會の辭 同會者 伊藤 誠  
開會の様移を申上ります。共同、單純と云ふ言葉は幾度か繰り返された。開布に於ける労働組合は從前の感情や行う様も捨て、眞に控擧を眞に至つた事は無立場階級の權威であり資本家に取つての驚愕でなければならぬ旨業維持法の如き寒酸が通過し人とする折柄組合の偉力を痛切に感心するものである故に諸君は強き團體より以上の統制ある完成の事を以て外の會議に進まれることを切に望む次第であります。

2.

## 一、經濟報告

機械聯合

田中某

某

唯今から組合完成までの經濟報告を申上ります。  
總聯合の問題は明治十九年制東方勞働組合團體が成立して始まり加賀シリード、之れは宣傳から実際の連絡へ、之とすゞ付合ひ、其不思議一つの組合が機械聯合かあるするに及んで、自生消滅してゐる事は東西には皆悉知るものか、幸甚ながらも乍く解散となり總聯合はほんとは其後はござり難らなかつた。

大正十九年九月總聯合の決議がなされ改憲問題上工体

昨年の十月より左の額と云ふを立つた。而して十二月十九日

十二月十九日下相談にての茶話会あり協議会にて

大正二十年一月九日、乙未電向當局に依つて開催され